神戸ポートビレジ管理組合情報システム基本方針

【表明】

IT 技術の発展やインターネットの広範な普及により私共は日常的に様々な恩恵を受けています。電子メールやネットワーク等を活用した情報発信と共有化、種々の電子化情報の活用等、これからは情報資産の活用度合いが神戸ポートビレジ管理組合の活動と運営に深く関わってくる、といっても過言ではありません。

しかし、情報資産の積極活用による魅力ある住まいを推進するためには、克服しなければならない課題がいくつかあります。そのなかでも情報セキュリティの確保は最重要課題の一つです。私どもは情報資産が常に漏えい、改ざん、破壊といった脅威にさらされていることを強く認識し、それらのリスクを最小限に抑え、情報資産を安全に活用するために不断の努力を続けなければなりません。

今後、総ての情報資産を私ども全員が適切に取扱い、正しく利用するための具体的な指針とルールが必要です。以下、ここに「情報セキュリティ規則」を定めることといたしました。管理組合の業務に携わる総ての関係者がこれを遵守し、統一された意識の下で情報資産を取扱い、保護することをここに宣言いたします。

2013 年 6 月 1 日

神戸ポートビレジ管理組合
理事長 清水 利英

情報セキュリティ規則

【総則】

(1) 目的

本情報セキュリティ規則(以下、「規則」とする)は、神戸ポートビレジ管理組合(以下、「管理組合」という)の情報資産を適切に保護し管理するための基本となる考え方を定め、継続的かつ網羅的に情報セキュリティへ取組むことを目的とする。

(2) 適用範囲

本規則は、管理組合に関わる総ての情報資産、及びそれらに関わる総ての関係者(理事、各種委員会委員、組合員、居住者、事務員、契約等により管理組合の業務を実施する者)を対象とする。

(3) 適用除外のための管理

法令および契約書に特段に規定された事項の遵守は、本規則の遵守よりも優先される。なお、法令および契約書等により本規則を遵守できない場合は理事長の承認を得る必要がある。ただし、大規模災害時等の生命に関わる場合で、緊急を要する場合は、事後の申請を可能とする。

【基本方針】

管理組合は保有する総ての情報および情報システムに対して必要で総合的な情報セキュリティ対策を実施する。

これらの情報セキュリティ確保に向けた取り組みを継続的に実施していくために、規則やマニュアルを定め、理事長を最高情報責任者(CIO)として、以下、各組織や各人の役割・責任が明確化された体制を構築し、運用する。

【達成すべき目標】

管理組合において、情報セキュリティを確保するために、以下の事項を目標とするために細則やマニュアル等を整備する。

1. 情報の機密性(許可されない侵入からの保護)、完全性(不正な改ざんや破壊、消去からの保護)、可用性(いつでも利用できる状態)を確保する。
2. 個人情報保護法や著作権法などの要求される法律や規則等を遵守する。
3. 全関係者を対象に情報セキュリティに関わる知識の周知を図る。
4. 不測の災害や障害に対応するために、業務継続計画を策定し継続する。また、定期的に業務継続計画に基づいた訓練を実施する。
5. 情報セキュリティに関する事故、もしくはその恐れが発見された場合は調査し、理事会に報告し改善案を提示する。

(以上)